

# カミハタ養魚グループ

生き物とともに144年。  
今までもこれからも。

世界各国から熱帯魚や金魚などを輸入して、全国のホームセンターやペットショップに卸す「神畑養魚」、観賞魚のフードを国内の自社工場で製造する「キョーリンフード工業」、キョーリンフード工業が製造した飼料を国内と海外60以上の国に販売する「キョーリン」の3社で構成される「カミハタ養魚グループ」は観賞魚を中心とした企業グループです。

商号	カミハタ養魚グループ
本社	〒670-0902 姫路市白銀町9
創業年	1877年(明治10年)
設立年	1961年(昭和36年 神畑養魚(株))
資本金	6,942万円(3社合計)
従業員数	408名(アルバイト・パート含む)
事業内容	観賞魚等の輸出入及び養殖・観賞魚等の飼料の開発製造卸及び輸出



1970年頃 姫路駅前の小売店

## 「食用鯉から観賞魚へ

当社の歴史は、1877年(明治10年)に神畑藤左衛門が鯉の養殖で創業したところから始まります。当時は食用の鯉を生産していましたが、時代が移り変わり生活が豊かになるにつれて、鯉を食べるよりも鯉を観賞することへ人々の嗜好が変化するという予測から、観賞用の魚に事業を変換しました。

1961年に神畑重三が神畑養魚(株)を設立し、錦鯉の養殖を開始、1968年に飼料卸部門を分離して、(株)キョーリンを設立します。さらに、1979年に(株)キョーリンの製造部門として、キョーリンフード工業(株)を設立して、現在のグループが成立しました。

## 「受け継がれるチャレンジ精神

神畑重三が大切にしていたのが、とにかく他社にないものを作り出すという精神。60歳を超えてから世界の秘境を探検しはじめた、そのバイタリティと探求心は、他社にないものにこだわる社風として、いまでも受けて継がれています。

前向きな失敗は責めないというチャレンジ精神をモットーに、観賞魚用フードブランド「HIKARI」は、これまで世になかった様々な製品を業界に送り出し、国内ではシェア55%を超え、世界的にも有名なブランドに育ちました。また、これまでに熱帯魚の養殖に本格的に取り組み、これまで繁殖例のなかった種類の繁殖に次々と成功しています。

## 「本業を離れるな 本業を続けるな

「本業を離れるな 本業を続けるな」という神畑重三の言葉どおりに、食用の鯉から観賞魚へ、魚から植物や爬虫類、小動物へ、生き物だけではなくフードや飼育用品へ、日本国内から海外へと、時代に合わせて我々は変化してきました。取り扱う生き物の種類は年間5,000種類以上、フードの輸出は世界60か国以上と事業が拡大していますが、あくまでも「観賞魚」を本業と捉えて、これからも飼育される生き物と飼育者の幸せのために貢献していきたいと考えています。



ドイツで開催されたペット展示会



キョーリンフード工業 福岡工場



神畑養魚 東京支店

since  
1877